

2023年3月期 第2四半期 決算概況

2022年11月29日

1. 2023年3月期 第2四半期決算
2. 2023年3月期 通期業績見通しと取り組み
3. 投資と配当

1. 2023年3月期 第2四半期決算

2023年3月期第2四半期 業績概況（前年同期比較）

- ・ 前年同期比で増収減益
- ・ 営業利益は、期首計画を上回るも、原材料価格高騰をカバーしきれず。
- ・ 四半期純利益は、固定資産売却益計上により増益

（単位：百万円）

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	対前年比	対計画比
売上高	53,943	58,148	+7.8%	△0.2%
営業利益	3,426	2,886	△15.8%	+8.1%
経常利益	3,668	3,232	△11.9%	+15.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,381	7,030 (※)	+195.2%	+2.5%

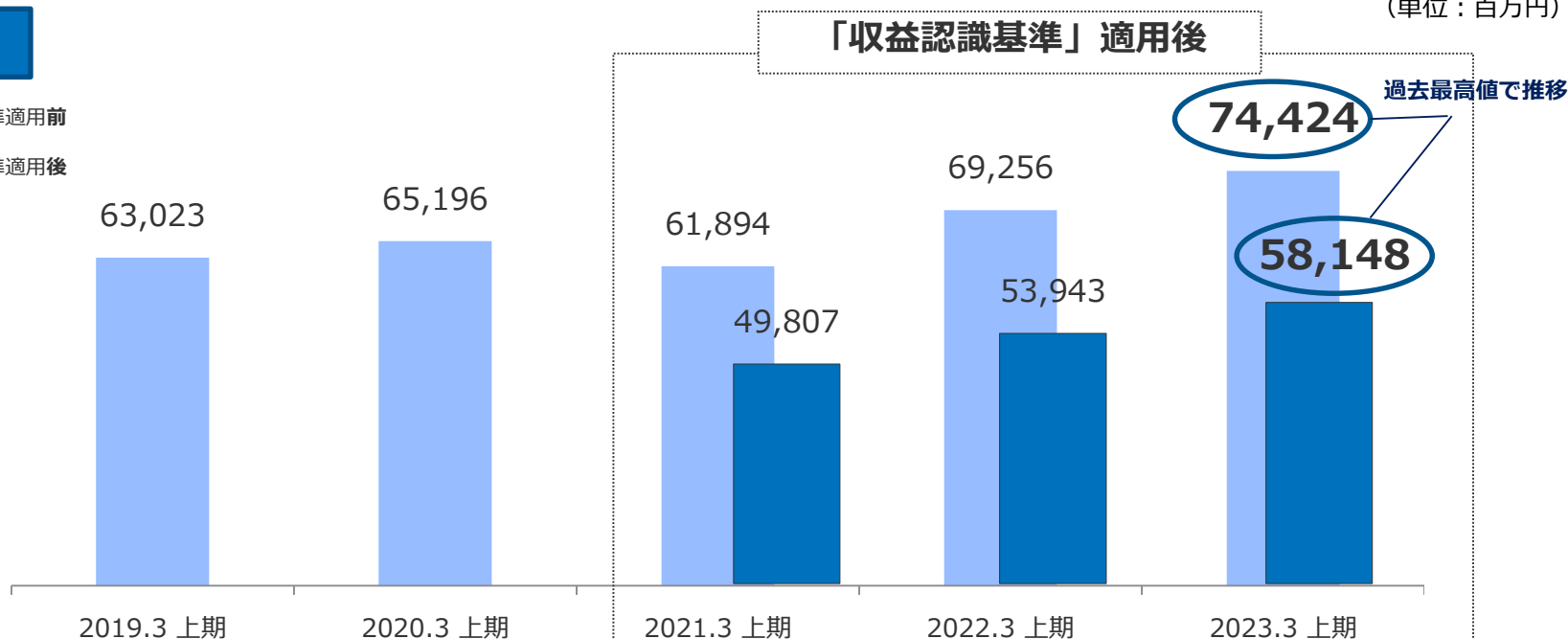
(※)2021年8月24日に「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」にて開示

経営成績の推移（5年間）

（単位：百万円）

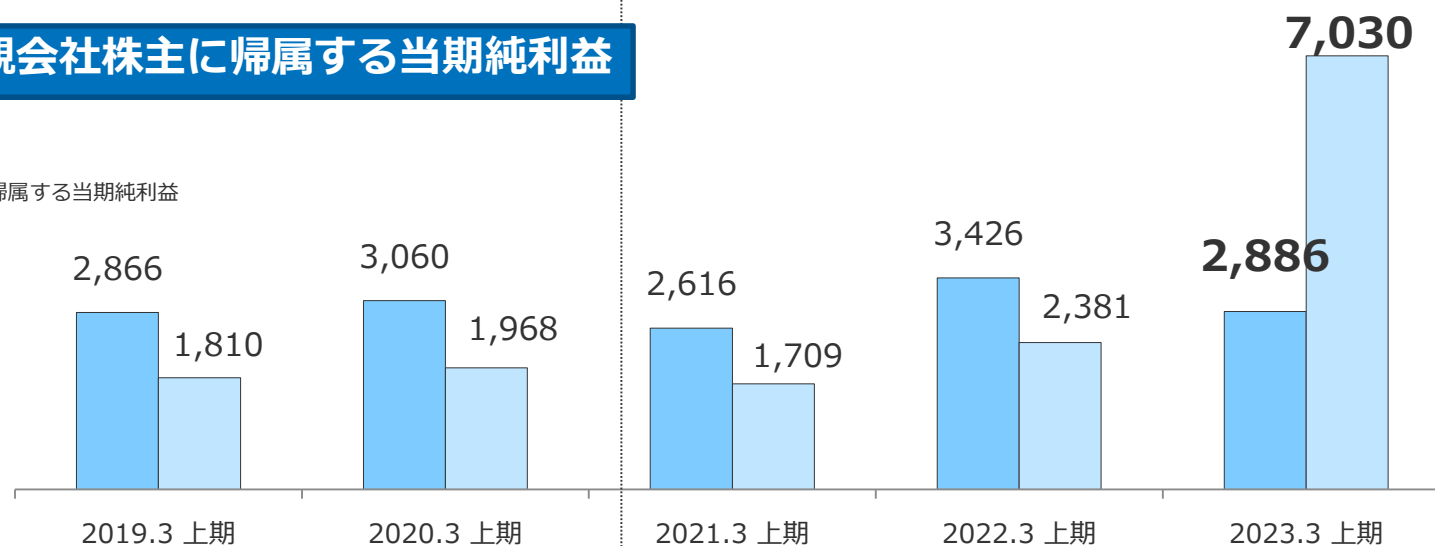
売上高

：収益認識基準適用前
：収益認識基準適用後



営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益

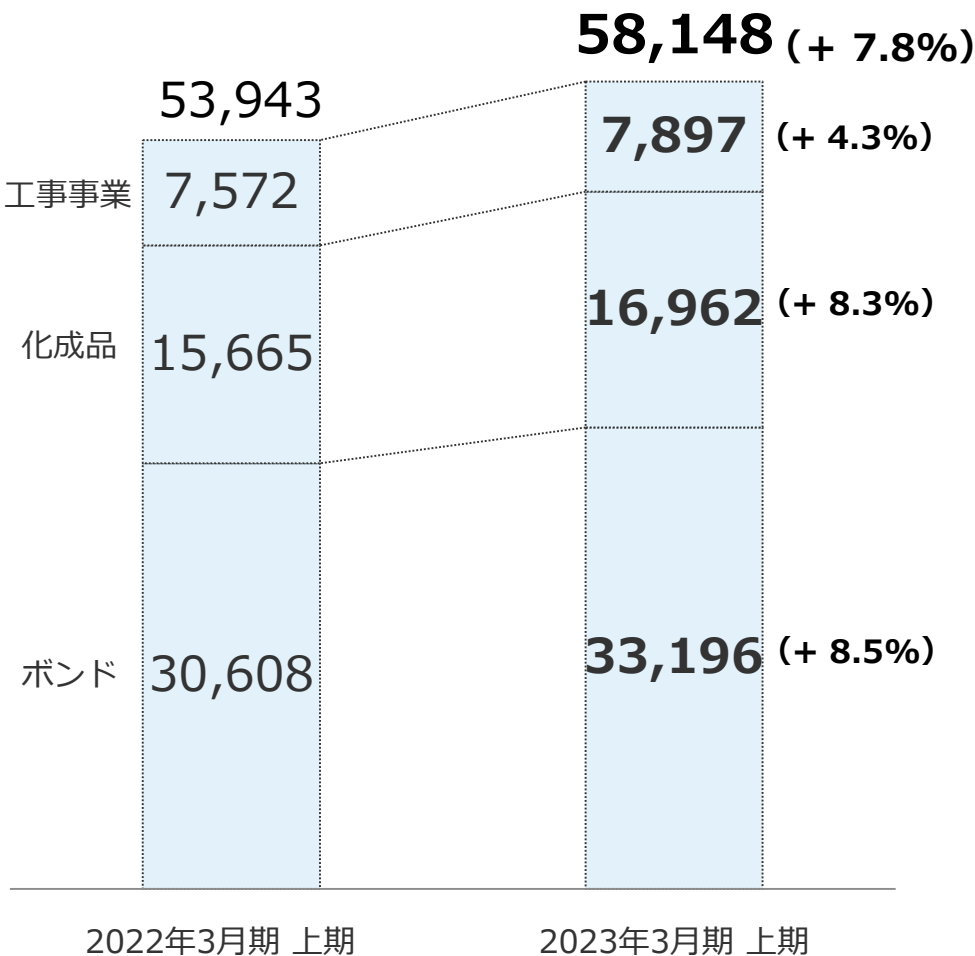
：営業利益
：親会社株主に帰属する当期純利益



2023年3月期第2四半期 セグメント別売上高・営業利益（前年同期比較）

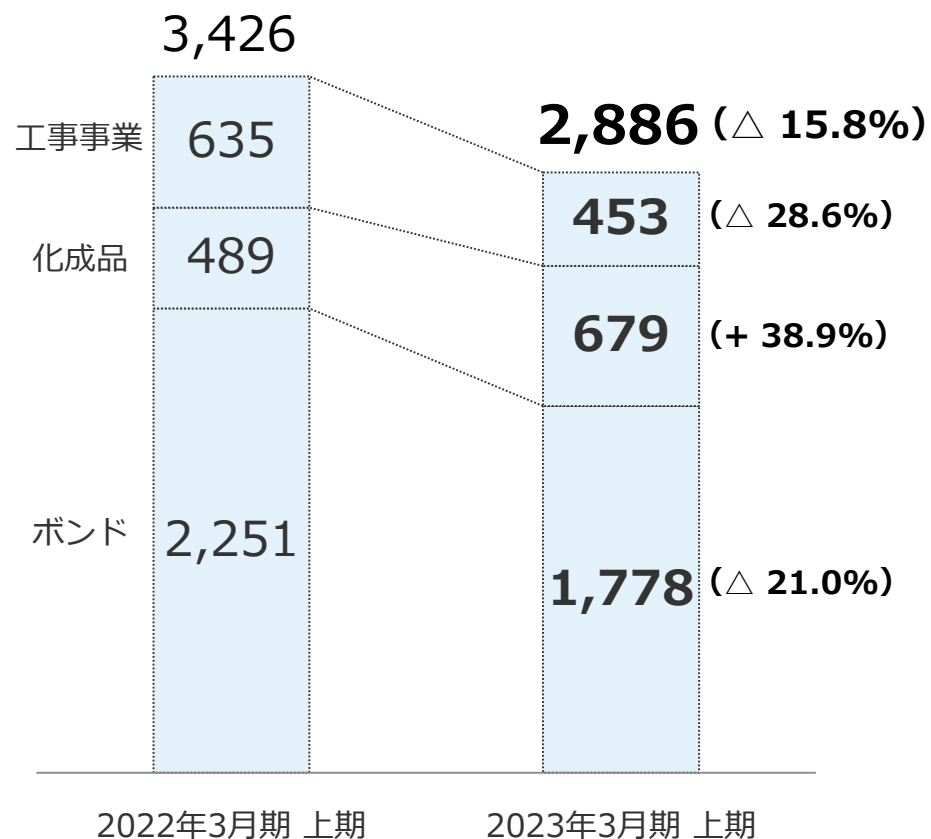
売上高

- ・「ボンド」は、販売価格改善や拡販により増加
- ・「化成品」は、新規獲得により増加
- ・「工事事業」は、補修・改修工事増により増加



営業利益

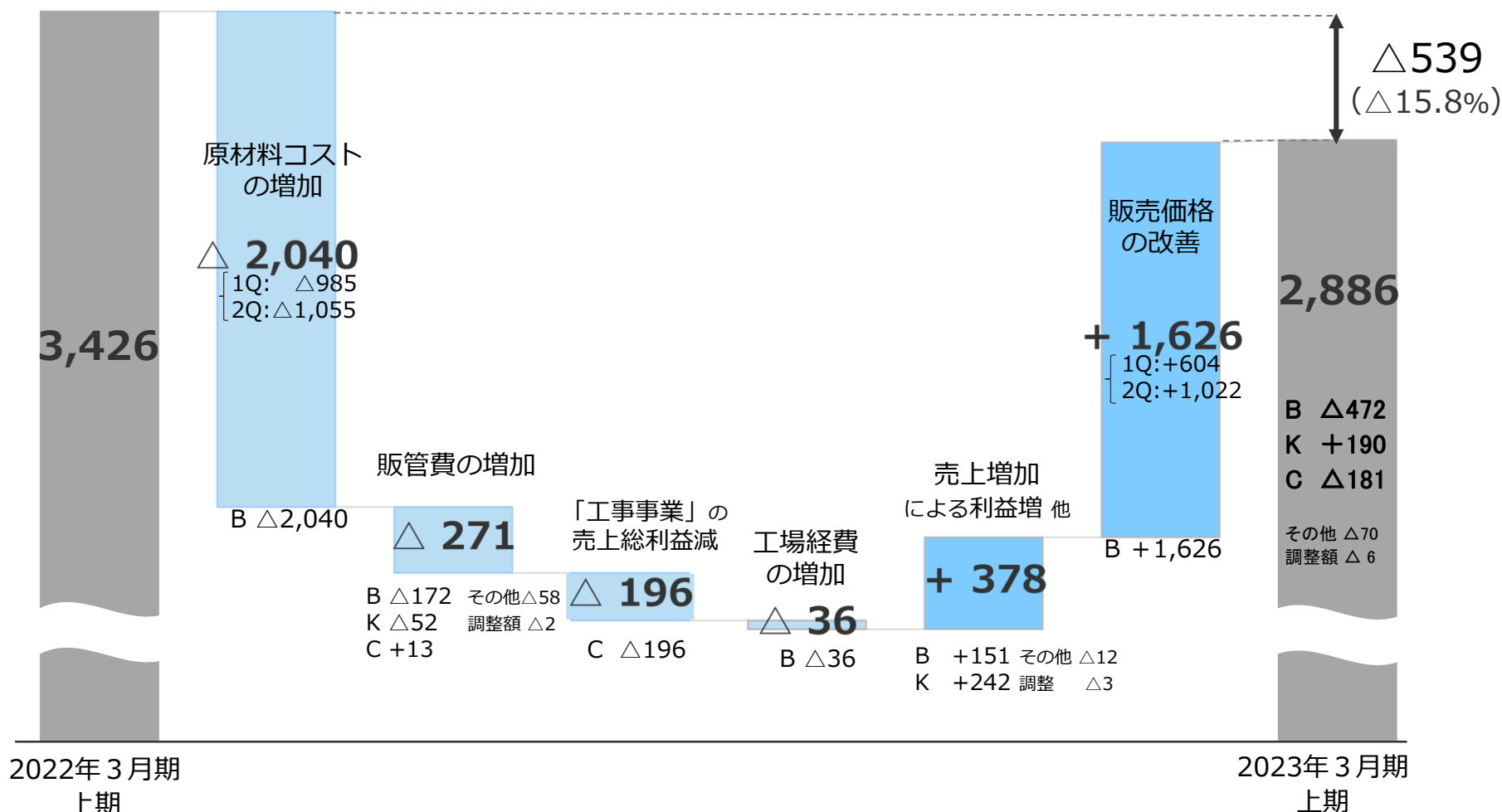
- ・「ボンド」は、原材料価格高騰の影響を受け減少
- ・「化成品」は、売上増による増益
- ・「工事事業」は、大型建設工事案件の減により減益



2023年3月期第2四半期 営業利益の主な増減要因

- ・ ボンドセグメントにおける原材料価格高騰の影響は、販売価格改善等で一定カバー
- ・ 販管費は、運送効率化による物流コスト削減などを進めたが、研究開発活動や拡販活動の強化により増

(単位：百万円 () 内%は前期比)

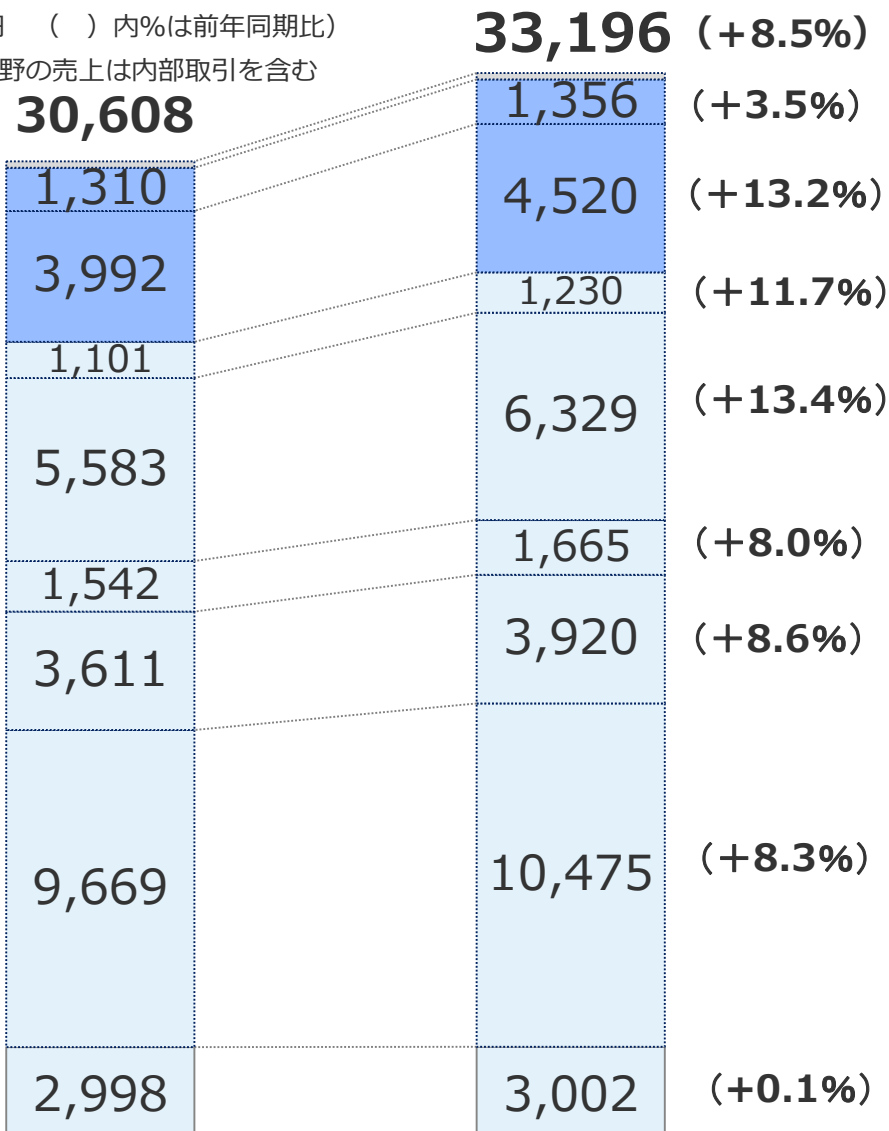


B = ボンド K = 化成品 C = 工事事業

ボンドセグメント 主な業界別売上高

(単位：百万円 () 内%は前年同期比)

※各社、各分野の売上は内部取引を含む



ウォールボンド工業 (連結子会社)

壁装用接着剤が堅調に推移

サンライズ (連結子会社)

住宅用シーリング材が好調に推移し、売上が増加

コニシ 土木用

コンクリートなどの剥落防止に使用する表面保護用材料が順調に推移

コニシ 建設用

建築物の補修・改修用途に使用する補修材や建築用シーリング材の販売数量・売上が増加

コニシ テープ

住宅関連用、産業資材用テープが好調に推移

コニシ 産業資材用

紙関連用接着剤や自動車、電子・電機用接着剤が順調に推移

コニシ 住宅関連用

内装施工用、内装建材用接着剤が販売価格改善により増加

コニシ 一般家庭用

ホームセンター、コンビニエンスストア向けが堅調

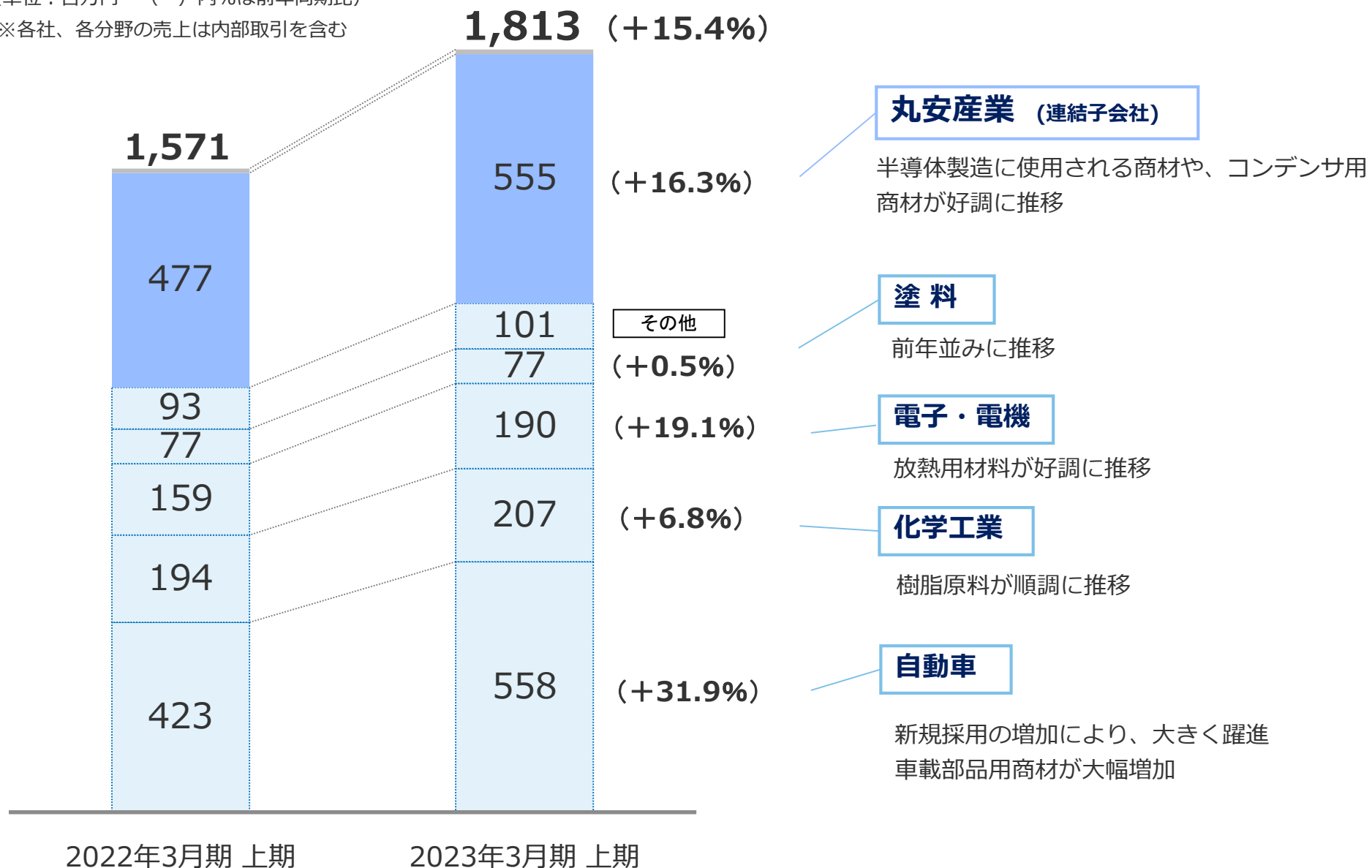
2022年3月期 上期
海外売上高比率:4.8%

2023年3月期 上期
海外売上高比率:6.0%

化成品セグメント 主な業界別売上総利益

(単位：百万円 () 内%は前年同期比)

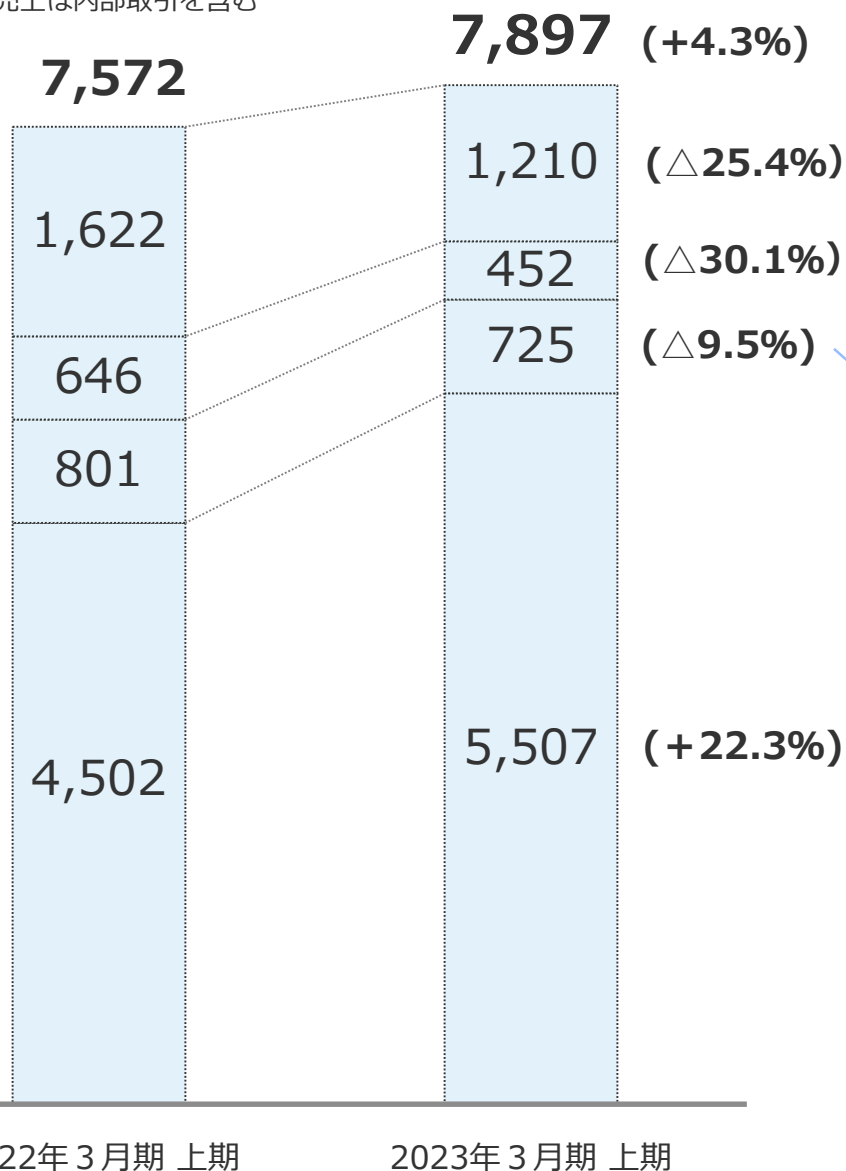
※各社、各分野の売上は内部取引を含む



工事業セグメント 関係会社別売上高

(単位：百万円 () 内%は前年同期比)

※各社の売上は内部取引を含む



角丸建設 (連結子会社)

前年並みの大型工事案件が得られず、減少
受注は順調に推移

近畿鉄筋コンクリート (連結子会社)

前期からの繰越工事案件や受注工事が少なく
減少
受注は下期以降順調に推移見込み

コニシ工営 (連結子会社)

公共工事は増加したが、民間工事が減少

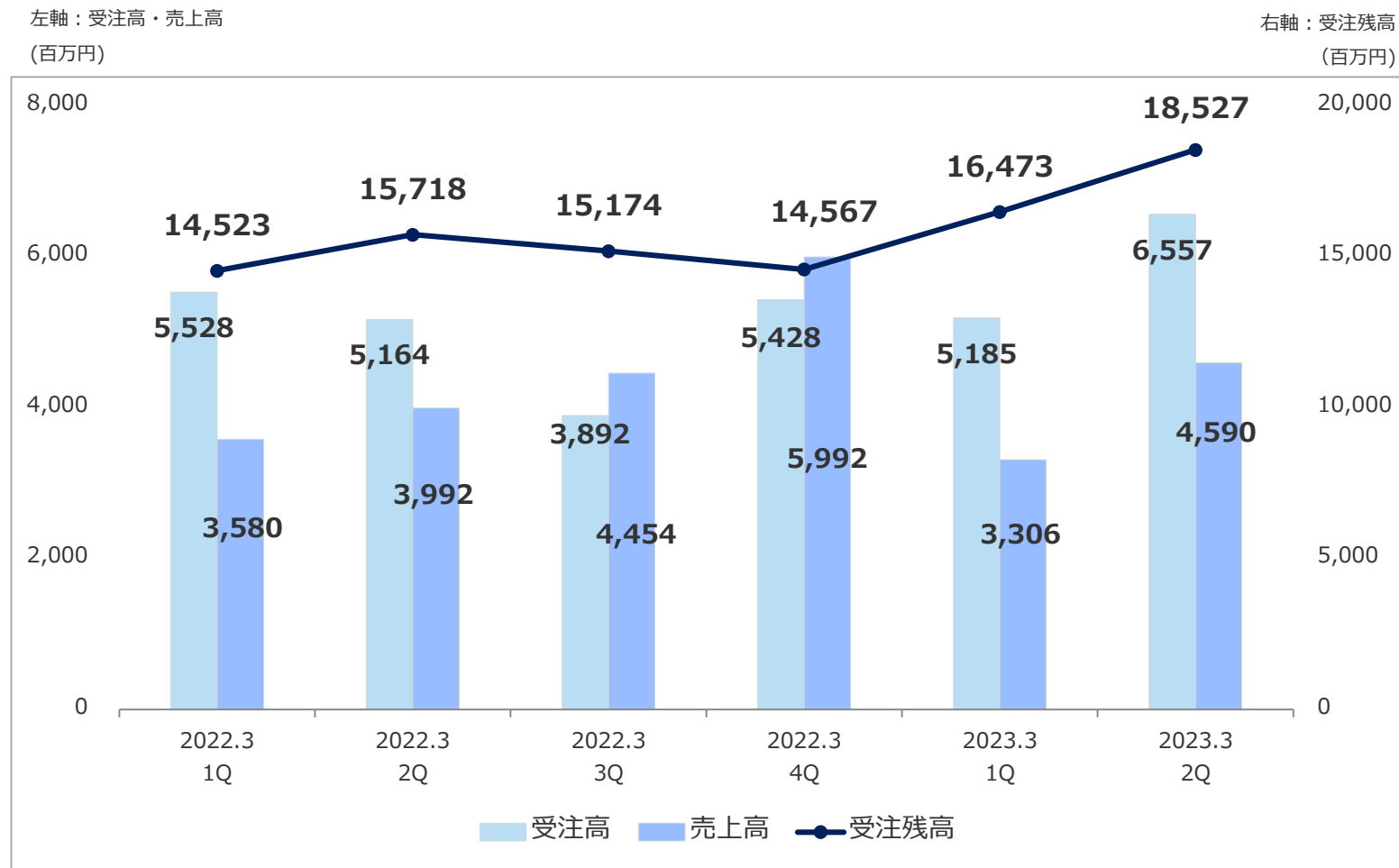
ボンドエンジニアリング (連結子会社)

橋梁、鉄道等の社会インフラの補修・改修工事が
売上、受注ともに好調に推移

※2022年6月に山昇建設を吸収合併
前期当期ともに山昇建設の売上高を含む

工事事業セグメント 受注高・売上高・受注残高（四半期別）

- ・ 23年3月期上半期の受注は、前年同期比+9.8%
- ・ 高速道路や鉄道関連等の補修・改修・補強工事を中心に、受注は大幅増。



2. 2023年3月期 通期業績見通しと取り組み

通期の業績見通しは4月公表値から変更なし。

- ・売上高は、拡販及び販売価格改善により、増収となる見込み
- ・営業利益は、さらなる販売価格改善とコスト改善により、前期比4.8%減まで改善する見込み

(単位：百万円)

	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期予想	増減率 (前期比)
売上高	113,671	122,000	+ 7.3 %
営業利益	7,298	6,950	△ 4.8 %
経常利益	7,822	7,250	△ 7.3 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,135	9,600	+ 86.9 %

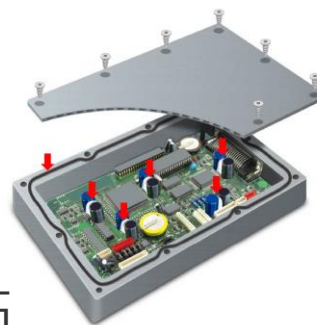
ボンドセグメント

接着剤市場での事業領域拡大を目指す



○新規開拓に特化した部隊を設置

- ・「自動車・電子電機分野」の新規開拓
- ・「水性形接着剤」の拡充によるシェア拡大（集成材用・紙用）



化成品セグメント

自社製品開発を推進し、利益率向上を図る



○材料科学研究所での研究開発推進

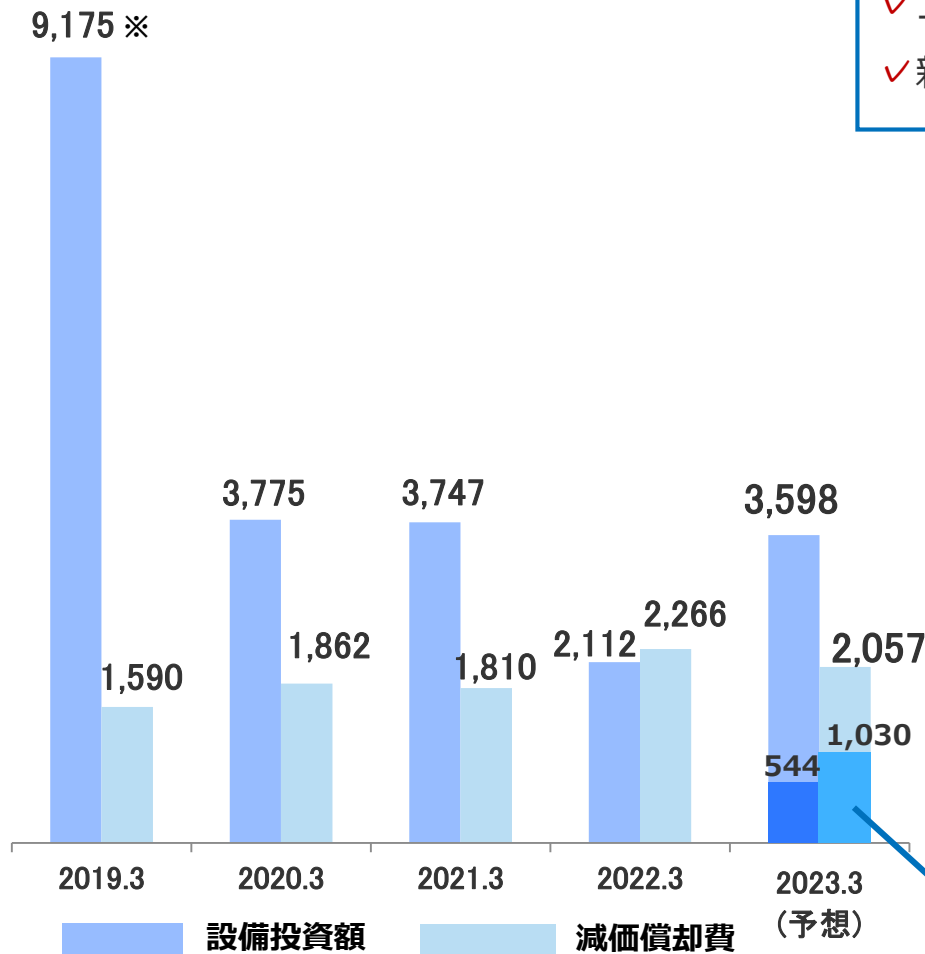
- ・「車載部品用材料」「塗料用中間原料」の早期販売を目指す



3. 投資と配当

設備投資・減価償却費の推移について

(単位：百万円)



※主に本社ビル（北浜コニシビル）取得により増加

【今期の主要な設備投資】

- ✓ ボンドエンジニアリング 東京支店 建設（9月完成済）
- ✓ コニシ栃木工場製造所 新設（土木工事分のみ 計上予定）
- ✓ 新基幹システム導入（物流管理システム分のみ 計上予定）



ボンドエンジニアリング東京支店
(2022年9月完成)

上期実績

中期の主要設備投資案件について

「コニシ栃木工場 新製造所・物流倉庫」の建設（2025年4月稼働予定）

約50億円

「水性形接着剤」の東日本エリアへの拡販を強化するため、製造所を新設



- ・生産能力の増強（現生産能力の約1.5倍）
- ・生産工程、充填、入出荷作業の自動化（省人化によるコスト削減）
- ・水性形接着剤の生産2拠点化（滋賀・栃木）によるBCP対策
- ・東日本エリアユーザーへの製品供給体制の強化（物流コスト削減）



集成材用



紙管用



栃木工場

「ウォールボンド工業（連結子会社）新工場・物流倉庫」の建設（2024年4月稼働予定）

約28億円

「壁紙施工用接着剤」の拡販を強化



- ・老朽化対策（現工場は開設後50年が経過）
- ・生産工程の効率化、入庫作業の自動化（省人化によるコスト削減）

新基幹システムの構築（2025年4月導入予定）

約23億円

現基幹システムが導入後10年が経過。



- ・現在の課題、ビジネス環境等を考慮した、効率的・合理的なシステムへ



壁紙施工用



壁紙施工用接着剤

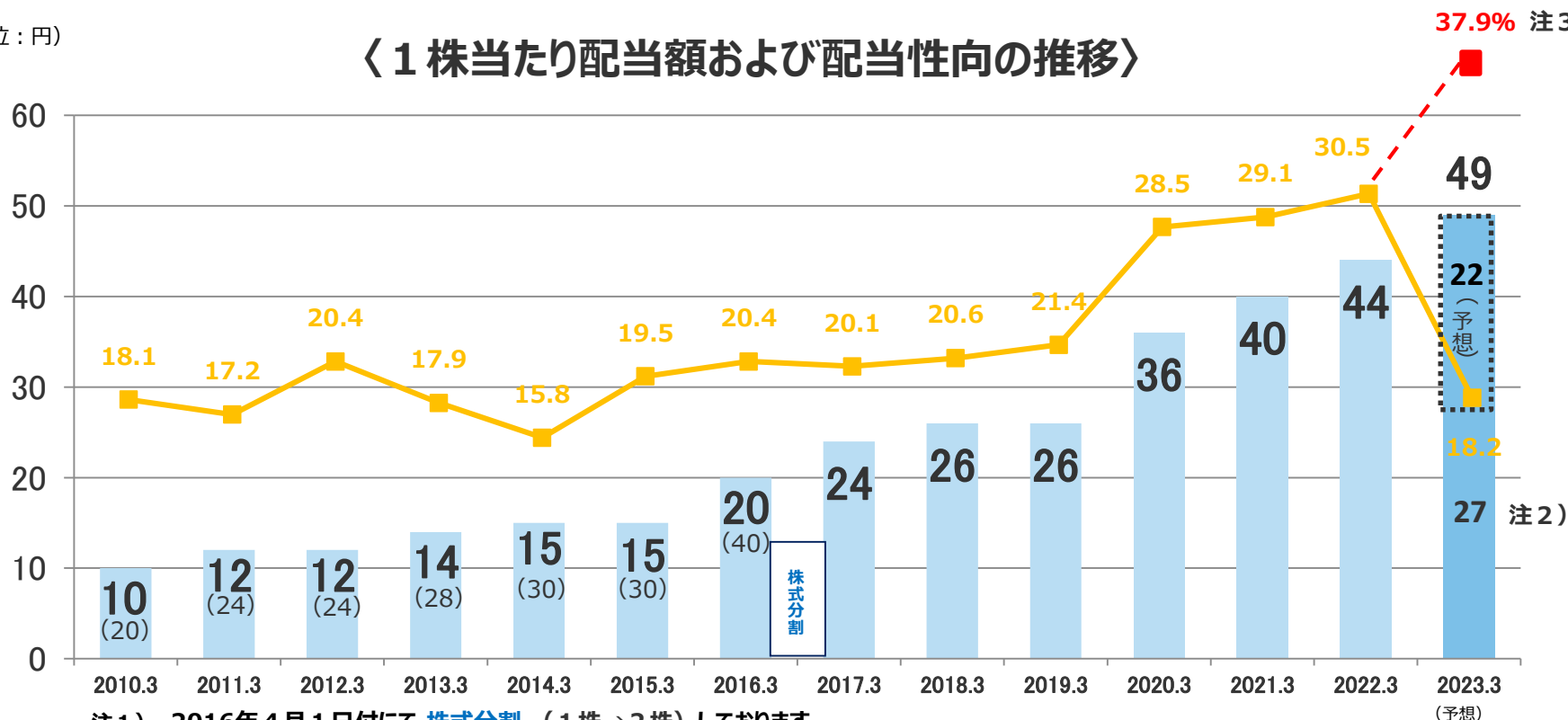
配当について

配当性向30%を目安に、毎期の業績等を勘案しながら、継続的かつ安定的な配当を実施する方針です。

当期の中間配当は、 bonds 発売70周年記念配当5円を含め、1株当たり27円とさせて頂きました。

(単位：円)

〈1株当たり配当額および配当性向の推移〉



注1) 2016年4月1日付にて **株式分割** (1株→2株) しております。
2016年3月期以前の配当についての1株当たり配当額については当該株式分割調整後の金額を記載しております。
なお、() 内には調整前の金額を記載しております。

注2) bonds 発売70周年記念配当5円を含む

注3) **事業活動に直接の関わりのない不動産売却益4,989百万円(税引き後)は除外して配当額を決定しております。**
当該影響額を控除した配当性向は37.9%となります。



免責事項

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

<IRに関するお問い合わせ>
コニシ株式会社 経営企画室

TEL : 06-6228-2877

E-mail : konishi-ir@bond.co.jp